

地域全体で学校支援を

～地域協育ネット「厚陽学校応援団」の取組～ 【山陽小野田市 厚陽中学校区】

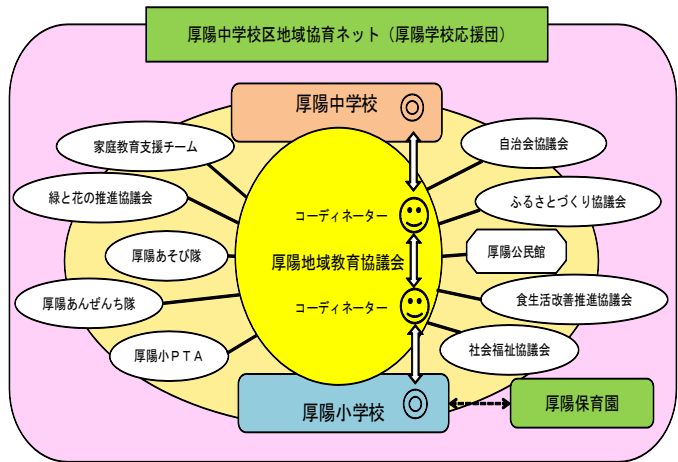
地域の概要

厚陽中学校区は、山陽小野田市の西南部に位置し、東は厚狭川、南は瀬戸内海周防灘に面しています。厚狭毛利氏の開作事業で広く農業が行われていました。古開作溜池や開作の安全を祈る巖嶋神社が残り、昔は渡舟が運行され、沿岸部では漁業も盛んでした。

人口	2,298 人	
世帯数	999 世帯	
対象校及び	厚陽中学校	55 人
児童・生徒数	厚陽小学校	101 人

組織の内容

厚陽中学校区では、学校と地域の連携を一層強化し、両者の教育力を相乗的に高め、学校の負担軽減や地域の力を生かして学校教育を地域全体で支えていくために、平成 20 年度、厚陽学校支援地域本部『厚陽学校応援団』を設置しました。推進母体の地域教育協議会は、学校関係者をはじめ、ふるさとづくり協議会や自治会協議会、地区社会福祉協議会や母子保健推進協議会や食生活改善推進協議会等の地域団体関係者、公民館、PTA や学校評議員をメンバーとして構成しています。



設置にあたり、厚陽地区の全 19 自治会（全 833 戸）に、各自治会長を通じて本事業の説明及びボランティア募集のチラシを配布し、登録を募り、また、地域の行事や会合などを利用し、できるだけ多くの人に直接加入の働きかけもしてきました。

ネット協議会の構成	学校関係者	6 名
	地域団体関係者等	9 名
	PTA 関係者	9 名
	学校評議員	6 名
コーディネーター数	2 名	
登録ボランティア数	99 名	

学校支援活動は、まず厚陽小学校の支援を進めていく中で、厚陽中学校へも活動が広がりました。当初は、コーディネーターは厚陽小学校 2 名、厚陽中学校 2 名の計 4 名でしたが、学校との連絡方法などを見直し、平成 23 年度は小・中一人ずつで行いました。そのため、学校支援活動の環境整備班、クラブ活動支援班、学習活動支援班、学校安全支援班の各班長（チーフ）とコーディネーターの連携をとっていくためのチーフ会議で、細かい運営等について決定するよう変更しました。

なお、「厚陽あそび隊」（放課後子ども教室）や主任児童委員を中心にした家庭教育支援チーム（家庭教育支援事業）による、「子育て講座」も平成 20 年度から始め、取組を継続しています。

全 体		厚陽中学校区	
月	学 校 行 事	ボランティア活動予定項目	私の活動予定
8	厚陽中学校区 9/11-12(2日) 厚陽小学校区 9/11-12(2日) 厚陽中学校区 9/11-12(2日) 厚陽小学校区 9/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区 厚陽中学校区 厚陽小学校区	
9	厚陽中学校区 9/11-12(2日) 厚陽小学校区 9/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区	
10	厚陽中学校区 10/11-12(2日) 厚陽小学校区 10/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区	
11	厚陽中学校区 11/11-12(2日) 厚陽小学校区 11/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区	
12	厚陽中学校区 12/11-12(2日) 厚陽小学校区 12/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区	
1	厚陽中学校区 1/11-12(2日) 厚陽小学校区 1/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区	
2	厚陽中学校区 2/11-12(2日) 厚陽小学校区 2/11-12(2日)	厚陽中学校区 厚陽小学校区	

ボランティア活動参加計画表

主な活動の紹介

- 学校支援ボランティア活動の実施に関する準備及び運営
 - ・学校支援ボランティアの募集・登録、広報活動
 - ・地域教育協議会の開催（企画や評価 等）
 - ・コーディネーターと学校との連絡、ボランティアとの調整
 - ・各学校支援活動班のチーフ会議の開催
- 学校支援の様子
 - ・学習支援…スキルタイム、読み聞かせ、書写・家庭科・図工等の指導、校外学習引率支援、運動会や文化祭など学校行事支援 等
 - ・クラブ活動支援…お茶、ものづくり、料理クラブの指導 等
 - ・環境整備支援…校庭の植木剪定、草刈や除草、校舎改築に伴う引越支援、備品などの営繕、車椅子用スロープの設置、図書整理や補修、花壇整備、花の苗の植付や配布補助、親子作業支援 等
 - ・安全支援（Koyo あんぜんち隊）…登下校時の交通安全指導や見守り、防犯パトロール、緊急時の情報連絡 等



ボランティアのみなさんへの
感謝のメッセージ
【カレンダーにしてプレゼント】



「緑と花の推進協議会」と
連携しての花づくり



「食生活改善推進協議会」と
連携しての家庭科調理実習支援



集会を兼ねた「感謝の会」で
ボランティアへお礼

今後の取組

今まで、厚陽地区住民と学校との関係は、結び付きが強く多岐にわたり助け合ってきました。そのため、学校支援活動にも積極的に取り組んでいます。今年度末には、厚陽小・中学校の施設一体化整備が完了し、小中連携教育が一層進むことが期待されます。また、新校舎には地域交流スペースもあり、今まで以上に地域住民と学校とのかかわりは密になると予想されます。さらに、PTAの協力も、小中連携の学習や行事が増えることで、より積極的になることが考えられます。

今後は、放課後子ども教室や家庭教育支援事業はもちろんのこと、新校舎のすぐそばにある保育園との連携を含め、「地域協育ネット」としてボランティアの個人や組織をつなげていくことができるよう、支援体制づくりをさらに進めていく必要があります。

コーディネーターさんにインタビュー

Q：コーディネーターのやりがいとはどんなことですか？

A：地域の学校は住民一人ひとりができることで支援する、という意識を醸成していければと願って活動しています。少しずつでも、その意識が定着してきているのが活動への励みとなっています。

Q：ボランティアの方や学校の先生にお願いしたいことはありますか？

A：ボランティア活動は、「私でも役に立てたという気持ちになれる」ことです。先生方にはこれからも、どんどんボランティア活動の要請をしてほしいと思います。